

平成 22 年度 第 1 回経済学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 22 年 7 月 23 日(金) 16：00～19：00
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者：林委員長，中嶋委員，望月委員，児島委員，渡邊委員
(事務局) 井端事務局長，森下主幹，渡邊職員
- IV. 議事概要

1. 検討内容

(1)「学士力」の実現に求められる ICT 活用について検討

今回の検討内容として，これまでの議論してきた「経済学教育における学士力の考察」の到達目標に対して，ICT を活用することで，これまでできなかった学びや教育の方法のモデルを示すことを確認．具体的には，学びの定着，学んだことを将来に活かせるための授業デザインやモデルを考察し，これに ICT を活用すると教育効果があるという視点で，5 年先を視野に入れた実践事例を示していく．加えて，大学のガバナンス姿勢についても言及する実践事例を示していく．

次に，各委員より前回の検討課題について以下の報告が行われた。

- ・ 日本経済論：パワーポイント+リンク
- ・ アンケート，プレゼンビデオ等への ICT 活用
- ・ 情報経済論等における物を考えること主眼を置いた ICT 活用(掲示板等による多方向性型授業の展開)
- ・ 実際に運用している CSS と 300 題への ICT 活用(解説ビデオの活用)

その後意見開陳．若年層向け小説(ライトノベル)の手法を取り入れたビジネス書などでは学びの動機づけ，NHK テレビ「ハーバード白熱教室」からファシリテーターの存在など，教員サポートに関する情報提供があった．また，ディスカッションのプロセス，学生同士が教え合うような教育に ICT が活用できないか，コンテンツを見せる時代からディスカッションツールとして ICT 活用でビデオ・掲示板等でデジタル化してアーカイブ化することがポイントであるとの意見があった．

また，今年度中に，この「経済学の学びが身につく(学士力の実現に求められる)ICT の活用」について，3 点程度の具体的な提案(実践事例)をまとめることを確認した．

(2)「経済学教育における情報教育(中間まとめ)」の改訂

平成 22 年 4 月から 5 月にかけて実施された「経済学教育における情報教育(中間まとめ)」のパブリックコメント(9 件，平成 22 年度経済学 FD 調査資料)に基づき，各先生からのコメントを反映させ，「経済学教育における情報教育」を改訂した．具体的には，以下の 3 点．

【到達度】

②：「一次情報の意味を読み取り」→「一次情報を用いて」

【教育内容・教育方法】

①：「情報やデータの所在を教え」→「情報やデータを探索させ」

③：「経済学に対する興味」→「経済学におよび経済に対する興味」

2. 検討課題

今回の検討事項(1)を踏まえて、前回の検討課題をさらに各委員が検討し、アイデアを提出する。具体的には、今回議論した「学士力」の実現に求められる ICT 活用」をさらに発展させ、5年先を視野に入れて、「経済学教育における学士力の考察」に関して学びが身に付くための ICT 活用の案(アイデア)について検討し、各委員よりアイデアを提出する。

V. 次回の開催日程

日時：平成 22 年 9 月 27 日(月) 10 時から 12 時までを予定

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

以上